

1. 政策の位置づけと目標

		主管課		環境保全課					
政策の柱	市民の快適な暮らしを支えるために	取組の基本方向	「良好な水と緑の環境を創出する」ため、河川の治水対策や水辺に親しめる環境づくりを進めるための「快適な河川環境の創出」、自然に対する意識を高めるための「自然環境保全の推進」、限りある緑を守り、育てるための「緑の保全・育成」に、重点的に取り組みます。						
政策名	良好な水と緑の環境を創出する								
目標	市民が身近に自然と親しめる良好な水と緑の環境が創出され、自然との共生が深まっています。	政策の指標	生活環境に、水や緑など、うるおいがあると感じている市民の割合						
政策を取巻く環境	地球環境問題への関心が高まり、自然環境について法整備が進む中、本市では都市化の進展に伴い都市緑化に対する市民の関心が高まっている。また、市町合併による市域の拡大に伴い、上河内・河内地域において自然環境の現状を把握するとともに、市街地とその周辺部における緑の連続性及び生物多様性を確保する必要性が益々高まっている。生物多様性に配慮した水と緑の環境を充実し、持続的に発展可能な水と緑と人が共生する魅力あるまちづくりを推進するため、市民協働による自然環境保全や都市緑化の推進など、各施策の積極的な取組が重要になっている。	政策指標の進捗状況	H19：基準	H20	H21	H22	H23	H24：目標	進捗状況
			69.6%	59.2%					77.0%

2. 政策の評価

現状と課題の分析	各施策の状況については、施策指標の達成度が高い数値を示しており、市民満足度と重要度は比較的高い状況であるが、政策指標の進捗状況については、市民満足度が高いものの10.4ポイント低下していることから、目標達成に向けた取組をさらに充実させていく必要がある。都市化の進展により、貴重な自然環境が残る里山・樹林地などの緑地や池沼の水辺環境が減少しており、緑の保全・育成については「緑の基本計画」の改定を踏まえた新たな制度の導入の検討、さらに河川においては自然生態系に配慮した環境との調和のとれた快適な河川環境の創出が求められる。また、平成21・22年度宇都宮市自然環境基礎調査を実施し、調査の結果を踏まえた施策を充実するとともに、市民に積極的に情報提供することで、市民理解を促進し、市民満足度を上げていくことが重要である。
----------	---

3. 政策を構成する施策一覧

	施策名	施策の達成状況				施策の二次評価		市民の意識	
		施策の指標	H19：基準	H20	H24：目標	進捗状況	満足度	重要度	
1	快適な河川環境の創出	自然生態系などに配慮して整備している河川の整備率（％）	54.3	54.9	57.8	95.0%	環境と調和のとれた快適な河川環境を創出するため、治水機能の確保と同時に、生物の生息環境に配慮し、周辺環境との空間的な連続性の保全に努めているところである。また、河川愛護グループへの支援やグラウンドワーク活動センターの指定管理など河川環境への関心を向上させる取り組みも継続しているところである。今後も地域との連携は勿論、環境部門との情報の交換・共有を図り、地域に親しまれる河川環境の整備を推進していくこと。また、整備上の課題として、維持管理コストの縮減や技術の向上など、業務の仕組みや手法について検討すること。	35.4%	69.9%
2	自然環境保全の推進	主要河川の水質調査における環境基準（BOD）の達成率	83	94	95	98.9%	本市の自然環境の現状及び経年変化を把握するために実施する平成21・22年度自然環境基礎調査について、自然環境アドバイザーや地域の専門家からの意見を反映し、自然との共生を推進するための様々な情報をとりまとめ、調査結果の公表や活用により、自然に対する意識を高めるとともに、生物多様性の確保を図る取組を充実すること。また、河川や地下水に係る環境基準の達成状況を把握するために監視の充実を進めるとともに、河川等公共水域の水質保全のため合併処理浄化槽の普及促進を図っていくこと。	30.3%	69.4%
3	緑の保全・育成	（財）グリーントラストうつつのみや緑地保全活動参加人数（人）	2,821	2,125	3,500	60.7%	水と緑のネットワークの形成については、都市緑地の公有地化とともに、里山樹林地における土地所有者や管理団体と連携した保全に取り組み、その結果、大規模な緑地が確保されるなど、一定の成果を上げているところである。今後は、市街地の過半を占める民有地の緑化を推進するため、既存制度の活用や、新たな制度導入の検討、さらなる市民意識の向上、土地所有者、管理団体、地域住民への積極的な活動支援、情報提供などを行い、市民協働による緑化活動や保全活動の仕組みづくりに取り組むこと。	34.6%	77.5%